



### 大野雄大(プロ野球選手)

1988年、京都府出身。京都外大西高校から佛教大へ進み、2010年に中日ドラゴンズよりドラフト1位で指名され、翌年一軍初登板。20年には2年連続で最優秀防御率のタイトルを受賞したほか、最多奪三振も獲得。同年、先発完投型の投手に贈られる最高栄誉の沢村賞にも輝いた。21年の東京五輪では「侍ジャパン」で金メダリストに。3人の子をもつ父親でもある。

# 「実際に触ったり動かしたり 子どもにとって新鮮な驚きばかり!」



## 楽しみ方は思いのままに

東海地方やスタジオジブリ作品ゆかりの方が肌で感じたことを語る「ジブリパークを歩いて」。今回は、プロ野球・中日ドラゴンズの投手であり、ジブリ作品の大ファンでもある大野雄大さんが来園。お子さん連れのご家族でジブリパークを巡った感想を伺いました。



「どんどこ堂」(どんどこ森)の前でポーズ。握りはやはり投手!?

ントが多いんです。「こども自由に触ってええんや」という良い意味の驚きが至るところであります。子どもたちも「サツキとメイの家」(どんどこ森)で机の引き出しを開けて中のものを触ったり、井戸から出てくる水に触れてみたりという体験を新鮮に楽しんでいるのが印象的でした。2018年のオフシーズンに「サツキとメイの家」を見に行ったのですが、今回改めて家族で「サツキとメイの家」を観賞できたのも感慨

ジブリパークが愛知県にできることを知ったとき、とてもうれしかったのを覚えています。「何年後かに行けたらええなあ」なんて思っていたので、こうして念願のジブリパークに家族で訪れることができて感激でした。ジブリパークはもともとの自然や地形を生かしつつ、愛・地球博記念公園と一体となっているのが魅力的ですね。あと、一般的なテーマパークだと、「お手を触れないでください」という注意書きをよく見かけますが、ジブリパークは実際に触ったり、動かしたりできるポイ

## 深かったですね。

それぞれのエリアの施設では、ジブリの世界観がすべてリアルに表現されていて、本当に感動しました。ジブリパーク内は、まるで映画の世界に入り込んだかのような感覚で、作り込みの細かさには驚かばかりです。コアなファンが楽しめる要素があるのはもちろんですが、公園の雰囲気も味わうだけでも十分満喫できると思います。

## 大人も子どもも物語の世界に思いをはせる

ジブリパークを訪れる前に、子どもたちと『アヤと魔女』を一緒に鑑賞したんです。それもあって、魔女の谷の「魔女の家」は映画のシーンを思い出しながら楽しみました。特に子どもたちは細かなシーンも覚えていて、「これ映画で見たやつ!」と大興奮でした。僕自身の一番思い入れのある作品は『天空の城ラピュタ』なんです。子どもの頃、ビデオテープが擦り切れるほど何度も何度も見た作品で。当時は、パズルがシートを助けるシーンは、ただハラハラドキドキしながら見ていたのですが、大人になってから見ると、パズルがシートを信じて身を投げ出すシーンに、二人の信頼関係を感じて、涙が出そうになるんですよ。そんな大好きなシーンが「ジブリの大倉庫」の「ジブリのなりきり名場面展」(企画展示)にあって感動でした。ジブリパークを訪れたことで、子どもたちはまだ見たことがないジブリ作品にも興味を持っているようです。自分自身もそうであるように、大人

になっても見続けられる作品ばかりなので、今は純粋に作品を楽しみつつ、これからもいろいろな作品を見てほしいですね。



「天空の庭」(ジブリの大倉庫)で「ロボット兵をイメージした表情とポーズです」とアピール

ジブリパークは、一日では足りないくらい見どころが満載です。敷地が広いのでたくさん歩くことを前提に準備しておいたほうがよいですね。小さいお子さんと巡る場合は、公式ガイドブックを活用することをおすすめします。今はプロ野球のオフシーズンなので、家族と過ごす時間が多く、子どもたちとガイドブックを見ながら「どこに行こうか」と話していたのでより楽しめました。あとはやっぱり、ジブリパークに行く前には、ぜひジブリ作品を鑑賞してほしいですね。そうすれば、ジブリパークを二倍三倍楽しめると思います。



ほうきにまたがり、毎年自主トレで披露する跳躍力を披露

プロ野球選手として、常にファンの方に応援していただけたことは当たり前ではないと思います。過ぎていきます。今回訪問して見た感想として、ジブリパークも同じく、作品のファンをはじめとするお客さまの支えを大切にしながら、長く愛される施設になることを期待しています。僕も来シーズンは強いドラゴンズになって、優勝と一緒に喜びたいと思っています!

前回は阿川佐和子さんの記事はウェブサイトで公開中



チケットは予約中